

第3回マンション管理員検定 本試験総評

TACマンション管理員検定講座

1. 総評

第3回マンション管理員検定試験が平成 24 年9月 23 日(日・祝)に実施された。受験申込者数は、705 人であり、第2回試験の 1,002 人と比べ減少した。

全体としては、公式テキスト及び問題集からの出題がほとんどであり、しっかり学習された方であれば、苦戦はしなかったのではないだろうか。

2. 第1章 マンション管理総論

1回・2回に続き、マンションの歴史からの出題である。公式問題集にも類似の問題があり、簡単に得点できたと思われる。

3. 第2章 管理組合の組織と運営

公式テキスト及び問題集で十分対応できたと思われる。管理組合の成立は頻出であるから、今後も注意しておくべきだろう。

4. 第3章 マンションの建物・設備等

用語の定義や設備の特徴からの出題がほとんどであった。また数字のひっかけが出題された。

5. 第4章 管理員の実務

公式テキスト及び問題集で十分対応できたと思われる。

「〇〇に含まれる・含まれない」

「〇〇は××と△△である。」

といった、分類を問う形式の問題が出題されているので、管理員業務のうちの業務に該当するのか整理しておく必要がある。

6. 第5章 法令・実務①

公式テキスト及び問題集で十分対応可能であった。ただし、個数問題が9問中5問出題されたため、苦戦された方もおおいのではないだろうか。

7. 第6章 法令・実務②

建替え決議の問題において、平成 14 年の改正の際に撤廃された「費用過分要件」について出題された。現行法においては建替えについての理由は限定されておらず、各マンションにおいて、建替えが必要か否かを判断すればよいこととされている。

区分所有法については、第1回に比べると、2回・3回の方が難しくなっている。

8. 第7章 マンション管理情勢

公式テキスト及び問題集で十分対応できたと思われる。しっかり勉強をしてきた方であれば、苦戦はしなかったであろう。

※問題冊子を持ち帰ることができない試験のため、正解番号および合格ラインは不明です。